

令和8年度 第1回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和8年6月18日(木) 16:00~16:50

議 題：令和8年度の基本方針及び学校目標等についての意見聴取

出席者：学校運営協議会委員7名、校長、副校長、教頭、事務長、総括教諭6名

1 校長挨拶

開式にあたり、水上校長から挨拶があった

2 委員自己紹介・職員自己紹介

全参加者が順番に自己紹介を行った

3 協議

(1) 部会の設置について

副校長から説明

(2) 会長・副会長の選出

会長・足立 亜矢子 様

副会長・水上 吉央 校長

以上、会長・副会長を選出した

(3) 今年度の基本方針及び学校目標等について

各グループリーダーから説明を行った

(4) 本年度開催日程について

第2回~第4回の日程について副校長から報告

4 意見交換

(委員A) ・AIの導入について、使用方法などの線引きはどのように考えられているか。

生徒とのコミュニケーションのツールとして活用していただきたい。

・先生方の働き方改革は理解するが、部活動は子供達にとって大切な場であり、部活動指導は維持してほしい。

(委員B) ・大学において、AIの発達により、論文作成ではAI活用の有無を判別することが難しくなったため、コンクールの中には中止になったものがある。今年度から「理化学論文大賞」などの企画は中止となった。

(委員C) ・在県募集生徒は今年度入学生が5期生となるが、年々多様性が増えてきた。自己肯定感が低く、コミュニケーション等で間違えることに不安を抱いている。学校内の大人だけでなく地域の方々と接点を持つことが大切で、自信をつけてほしい。

(委員D) ・支援学校との連携を深めていただき、うれしく思う。体育祭での交流はとてもよかった。多様性への理解が深まっていくことはよいことである。

・本校でも仕事の平準化を意識し、負担が増える前に対応していきたい。

(委員E) ・本所においては、議事録作成にAIを活用して職員の負担を減らすなど、働き方改革に取り組んでいる。

(委員F) ・本日生徒の下校時の様子を見ることができたが、服装もきちんとしていて、周りをよく見ていて落ち着いていた。

・行事の充実など業務の質を上げるなど生徒が学校に向かうように努力することが働き方改革につながる。

・中学校では、AIは原則使用していない。次年度から限られたアプリは使用可となる。この流れは避けられないので、準備は必要である。

(委員G) ・みどり支援学校の分教室があることと在県募集生徒が在籍していることは、いろいろな人と触れ合えることができる新栄高校の大きな特徴である。

・地区センターの行事に、吹奏楽部や生徒会などの生徒さんに参加していただいて感謝している。

5 その他 地域連携部会

・学校から報告を行った